

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
居住計画論	木下 誠一	講義	2	建築士	1,2	1,3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	住宅や集合住宅、高齢者福祉施設における人々の諸要求を把握し、行為と空間との対応関係について理解を深める。						
到達目標	空間の規模設定や機能構成、空間デザイン等、建築計画の理念や方法を身に着ける。						
回	学習内容						
1	ガイダンス、住宅の敷地条件（配置計画）						
2	住宅の機能とゾーニング、動線計画						
3	住宅の寸法計画（人体寸法と動作寸法、モジュール等）						
4	住宅の空間構成（平面計画）						
5	住宅の空間構成（断面計画）						
6	住宅の各室の計画（居間・個室等）						
7	住宅の水まわりの計画（台所、風呂、便所）						
8	住宅の収納の計画						
9	住宅の外部空間の計画（立面計画・外構計画）						
10	集合住宅の計画（1）計画手法						
11	集合住宅の計画（2）事例						
12	高齢者福祉施設の計画（1）施設体系						
13	高齢者福祉施設の計画（2）通所施設・事例						
14	高齢者福祉施設の計画（3）入所施設・事例						
15	まとめと確認						
予習内容 復習内容	予習：講義のテーマ毎に関連した文献等に目を通す。 復習：講義資料を読み返し、レポート課題に取り組む。						
教科書	教科書は使用しない。講義ごとに資料を配付する。						
成績評価	出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 講義のテーマ毎に実施するレポートにより評価する（100％）。						
実務経験	一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。						
その他 特記事項							